

DxMT京大拠点・ARIM名大拠点連携が牽引する

AI for Science

2026年5月7日(木) 13:00~

 会場：名古屋大学ESホール (名古屋大学ES総合館1階)
 名古屋市中種区不老町 (別添地図 C2 ④)

文部科学省・マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) と文部科学省・データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト (DxMT) は、物質・材料研究機構・データ中核拠点と連携して、マテリアル DX プラットフォームを形成し、マテリアル研究開発におけるデータ駆動型研究開発・AI for Science・AI for Materials を推進しています。

ARIM 名大拠点は、DxMT 京大拠点と連携して、データ駆動型研究開発および AI for Science・AI for Materials による次世代バイオマテリアル研究の革新を目指した研究開発を加速しています。

本シンポジウムは、文科省・内閣府 服部参事官から基調講演を行っていただき、ARIM 永野 PO および DxMT 京大拠点、ARIM 名大拠点の最先端研究者から、マテリアル DX プラットフォーム構築の最新状況と AI for Science・AI for Materials への展開およびデータ駆動型研究開発の最先端の研究成果を発表していただくとともに、AI for Science・AI for Materials の将来展望について議論する予定です。是非、多くのご様子にご出席いただければ幸いです。

プログラム

12:00	開 場
13:00	開会挨拶 小橋 眞 名古屋大学副総長
13:10	座 長 馬場 嘉信 名古屋大学特任教授
	基調講演 (25分講演 + 5分質疑応答)
	服部 正 文部科学省 研究振興局 参事官 (ナノテクノロジー・物質・材料担当) (併) 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 (マテリアル担当)
	『マテリアル革新力強化戦略推進方策:世界が刮目するAI for Materials革命への挑戦』
13:40	座 長 山本 剛久 名古屋大学教授
	講演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	永野 智己PO 文部科学省 技術参与・ARIMプログラムオフィサー JST-CRDS 総括ユニットリーダー・フェロー
	『AI for Science時代のマテリアル革新と先端研究インフラの新潮流』
	講 演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	沼田 圭司教授 京都大学大学院工学研究科 DxMT京大拠点・拠点長、COI-NEXT代表者
	『DxMT京大拠点が推進するAI for Science』
15:00	休 憩
15:10	座 長 湯川 博 名古屋大学特任教授/QST量子生命科学研究所 PD
	講演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	酒井 崇匡教授 東京大学大学院工学系研究科 DxMT京大拠点・東京大学代表、ERATO研究総括
	『AI for Scienceによる新機能的医療材料研究』
	講演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	荒川 和晴教授 慶應義塾大学先端生命科学研究所・所長 DxMT京大拠点・慶應義塾大学代表
	『1,000種のクモのオミクス解析とAI for Scienceによる高機能人工タンパク素材の合理的デザイン』
16:30	休 憩
16:40	座 長 加藤 剛志 名古屋大学教授
	講演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	清中 茂樹教授 名古屋大学未来社会創造機構量子化学イノベーション研究所・所長 東海国立大学機構量子拠点・拠点長、BRIDGE代表者
	『量子技術とAI for Scienceの接点 - ARIM名大拠点と東海機構量子拠点の連携が拓く研究基盤 -』
	講演 (30分講演 + 10分質疑応答)
	馬場 嘉信特任教授 名古屋大学ARIM名大拠点・拠点長、 QST量子生命科学研究所・所長、量子生命拠点・拠点長、文科省Q-LEAP代表者
	『ARIM名大拠点とDxMT京大拠点連携によるAI for Science・AI for Materials』
18:00	閉会挨拶 村山 宣光 ARIM名大拠点・ディレクター、東海国立大学機構量子拠点・ディレクター

参加申し込みはこちらから

 文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM)
 次世代バイオマテリアル拠点 名古屋大学

 シンポジウム参加申し込みフォーム <https://arim.mirai.nagoya-u.ac.jp/symposium/>
 お問い合わせ先: messages@arim.mirai.nagoya-u.ac.jp
